

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

取得している国際認証制度であるSGEC/PEFCの制度に則り、持続可能な森林の管理を実施するとともに、成熟した森林資源を計画的に伐採し、製品として販売することで、山村の地域経済へ貢献する。また伐採後は、必ず植林を実施し循環型の森林を作り、将来世代へ豊かな森林資源を引き継ぐとともに、炭素吸収源としての森林の役割を十分発揮できるよう脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進める。また、運営する観光施設『球泉洞』や恵まれた森林資源を活用した、地域の子供たちへの森林環境教育を実施し、森林の役割や適正な管理の重要性について伝える活動を実施する。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	伐採後の確実な植林の実施	2023年 植栽面積 120ha 2026年 植栽面積 145ha
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	森林環境教育の実施	2023年 実施回数 5回 2026年 実施回数 5回
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	間伐および皆伐による木材生産・販売	2023年 生産量 26,418m ³ 2026年 生産量 32,000m ³

<パートナーシップ>

組合員および熊本県、球磨村、森林整備センター、熊本県林業公社の官公庁や山林を管理している伊勢神宮司庁などと、森林管理に関する情報や補助金の活用など有効的な情報を共有し、適正かつ計画的に実施することで信頼関係を構築し、SDGs達成に繋げていく。

- ・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取り組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	伐採後の確実な植林の実施 (※未達理由・・・作業員の人員不足)	2023年 植栽目標 145ha	2020年 植栽面積 140ha 2023年 植栽面積 145ha
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	森林環境教育の実施	2023年 実施目標 2回	2020年 実施回数 0回 2023年 実施回数 2回
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	間伐および皆伐による木材生産・販売 (※未達理由・・・作業員の人員不足)	2023年 生産目標 28,000m ³	2020年 生産量 25,100m ³ 2023年 生産量 28,000m ³

- ・「取り組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。